令和８年度 文京区立礫川小学校 授業改善推進プラン〈５年生〉

	現状分析	具体的な授業改善策
国語	・漢字の書き取りテストでは、定着に個人差がある。また、習った漢字を文章の中で正しく使うことに課題がある。 ・物語文では、登場人物の心情を叙述から豊かに読み取ることができる児童が多い。説明文では、筆者の主張は読み取れるが、段落相互の関係に着目して、書き手の考えがどのように説明されているかを捉えるところに課題が見られる。 ・文章を書く際、主語と述語が対応していなかったり、一文が長くなってしまったりする。原稿用紙の書き方が不十分である。詳しく書くことが苦手な児童が多い。 ・相手の考えを聞き取ろうとする意識が弱く、内容を正しく聞き取ったり、話を聞いて内容を広げたり深めたりする力に課題がある。違う立場の意見に耳を傾けたり、容認したりすることに課題がある児童もいる。	・日々の授業や課題の中で、習った漢字を活用して文章が書けるように指導する。漢字学習は、反復練習やテスト直しを丁寧にさせることで、定着度を高める。 ・段落相互の関係を明らかにする学習を丁寧に行い、文章の中心となる語や文を見付ける力を伸ばす。また、グループで文章の構成を確認するなど協働学習を取り入れ、児童が学び合う授業を行う。 ・文章を書く前に中心となることや組み立てなどを整理したり、書き上がった文章を読み直したりするよう指導する。起承転結を意識させ、書くポイントを掲示し、書く力を高める。 ・人の話は最後まで聞くことや、要点を聞き逃さないこと等を指導する。また、話の聞き方や話し合いに対する姿勢、質問の仕方についても丁寧に指導する。
社会	・主体的に取り組む児童は多いが、資料から読み取る力が不十分であることが課題である。 ・一人ひとりが、予想をしっかり立てることができている。しかし、調べたい内容を、必要な言葉や情報にしぼってまとめることに課題が見られる。 ・自分の経験や生活と結び付けながら、その土地の特徴に関心をもつことができているが、疑問や課題を主体的に見付けようとする姿に個人差がある。 ・身に付けている知識、技能に、個人差があることが課題である。	・グループ活動を通し、資料から読み取れる事をホワイトボードにまとめさせる。 ・単元ごとに調べ学習を通したまとめ学習を行う。教科書やノート、タブレット端末等を参考にして自分の言葉で、表現する活動を多く取り入れる。 ・疑問が浮かび上がるような資料の用意や提示の工夫を行ったり、気付いたことを学級全体で共有したりしながら、課題に目を向ける視点を育てる。 ・教師が手本を示したり、机間指導で個別に声掛けを行ったりすることで少しずつ視点を覚えさせ、年間を通して継続的に指導していく。地図帳を使った活動を継続的に行っていくことで、地理に対する関心を高めるとともに、知識の習得を図る。
算数	・意欲的に学習に取り組む児童が多い。 ・小数のかけ算やわり算、図形の角などの計算問題については、およそ定着が図れているが、小数の倍の学習においては、立式をす	・立式をする際に数直線を繰り返し活用することで、数直線の利点を実感できるようにしながら倍の考え方の理解を深めていく。

	る際に数直線を活用することが難しい児童が多く見られる。 ・計算方法の定着はみられるが、一部の児童は根拠を明らかにして解答を説明することができていない。 ・難しく考えすぎているか周りに共感してもらえない、または自信がもてない児童が散見される。	・中学校で学ぶ「証明」やプログラミングの基本など、根拠を明らかにし、筋道立てて説明することが今後の学習につながることを、日頃から意識して指導する。 ・ペア、少人数、全体など、互いに学び合う時間を適宜取り入れ、自分の考えを分かりやすく伝え合ったり、友達の考えの良さに気付いたりする場を設定していく。
理科	・実験の方法を考える際に、調べたい条件のみを変える必要があることを理解できた。 ・実験に対する意欲は高いが、実験がない分野については関心をもって取り組めている児童とそうでない児童に差がある。 ・結果と考察の区別がまだ不十分な児童がいる。 ・理科室の使い方のルールを理解し、安全に気を付けて学習することができている。	・今後も実験方法を児童と考えながら進めていくことで、思考力を高める。 ・台風のニュースや、災害の実例を示すなど、身近に理科の学習と繋がる事象があることを知らせ、学習への関心を継続的にもてるよう、はたらきかける。 ・結果や考察を考える時間に丁寧に机間指導を行うとともに、学級全体で共有する場面で明確にしていく。文章で説明する機会を増やす。
音楽	・歌唱や器楽、鑑賞や音楽つくりの活動にすすんで取り組む姿が見られる。 ・鑑賞では、気付いたり感じ取ったりしたことを、言葉で友達に伝えたりワークシートにまとめたりすることに個人差が見られる。 ・リコーダーの学習に積極的に取り組み、姿勢や音色に気を付けて演奏しようとしているが、基礎的な運指や息使い等の習得が課題である。 ・学習規律を守ることや粘り強く学習に取り組むことに関しては、継続的に支援するための手立てが課題である。	・更に主体的に活動に取り組むことができるように、様々な体験を学習計画に取り入れる。 ・楽曲を聴くポイントを提示し、音楽の要素に着目させて聴くようにする。友達と交流する場面を意図的に設けていく。 ・タンギングや運指、息の強さ、音色など、個別に指導していく。 ・担任と連携して、児童の頑張りやできるようになったことを情報共有する。肯定的な言葉掛けを増やすことで児童の意欲や自信を高める。場合によっては、個別指導の時間を設け、安心して学習に取り組めるようにする。

図画工作	・友達の活動や作品に非常に興味があり、よく鑑賞し、自分の感じ方を広げたことを活かして活動をしている。新しい用具や材料にもすすんで関わり、表し方を生み出している。	・友達との関わりや鑑賞をしたことを活かして活動が広がっていくような題材を設定し、新たな発想や構想をしたり、自分の見方や感じ方を広げたりできるようにする。また、表したいことの多様性にも柔軟な対応をしていくことで、活動そのものに夢中になれるようにする。
体育	・グループ活動において、課題を解決するために積極的に話し合いをする児童が多く見られる。 ・学習を振り返り、自分の課題を具体的に考えられていない児童が多い。また、できなかったという結果だけで終わってしまい、改善策まで考えられていない児童もいる。 ・グループ活動において、意欲的に運動している反面、気持ちが前面に出てしまい、勝敗ばかり気にしてしまったり、友達に掛ける言葉がきつくなってしまったりすることがある。	・グループ活動を継続し、どの児童も運動の楽しさややりがいを感じられる授業を展開していく。 ・学習カード等を活用し、常に考えながら運動に取り組む姿勢をつくる。その授業で何を学び、次にどのようにつなげていくのか、めあてと振り返りが一貫するよう指導していく。 ・全員が楽しめるようなルールを児童と一緒に考えたり、勝敗だけでなく運動する楽しさを感じられるような教師の声掛けを増やしたりする。チーム内の良い言葉掛けや行動を積極的に価値付けしていく。
道徳	・道徳的価値について素直に考え、自分の考えを表現することができている。友達の意見にも耳を傾けることができている。 ・教材文を読んでも、その時間に扱う価値と関係ないところに気が向いてしまう児童もいる。 ・道徳的価値について、これまでの自分自身の生活に結び付けて考えることや今後の生活に結び付けるなど、実生活に生かすことに課題がある。	・今後も様々な考えを取り上げながら、道徳的価値に関してより多面的多角的に考えられるようにする。 ・導入場面でその時間に扱う道徳的価値についてしっかりと意識付けをする。そのために適切な補助発問を行い、児童が道徳的価値について深く考えられるようにする。 ・授業では、必ず自己内対話と他者との対話の時間を設定する。日常の学校生活で、学んだ道徳的価値について活用している場面を見かけた時には取り上げ、児童に価値付ける。
総合	・タブレットを使って調べた内容の中から、本当に必要な情報のみにしぼってまとめる力には、課題がある。 ・調べたことを表現する方法や、相手に伝わるように発表する技など、調べ学習と発表の経験は、今後もたくさん積ませる必要がある。	・学習に入る前に事前に情報を精査して、サイトを限定することも必要に応じて行う。 ・参考資料の扱いの指導も継続的に行う。 ・今後も継続的にまとめる機会を作り、よい方法について共有しながら指導していく。 ・ICT 活用を含めて、表現方法やその工夫について、教科横断的に指導していく。自分の言葉、絵で表現できるようにする。 ・他の学年に協力してもらいながら、発表する機会を増やす。 ・各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、さまざまな事

		象を多角的に俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方について考えられるようにする。
外国語	・英語の歌やゲーム、ペアでのコミュニケーションを楽しんでいる様子が見られるが、技能の習得に個人差がある。 ・英語を発音することに関して自信がなく、恥ずかしさもあるせいか、小さな声になってしまったり、発言に消極的になってしまったりしている姿が見られる。 ・アルファベット（特に小文字）やローマ字を正しく書く力が不十分である。	・苦手な児童でも一緒に楽しむことができるよう、様子を見ながら日本語での説明も付け加えるようにする。 ・机間指導を丁寧に行い、自信をもって英語を発音できるよう支援する。 ・ワークシートに書かせたアルファベット、ローマ字も ALT と連携して指導にあたる。
家庭科	・授業内容に興味をもち、真面目に取り組む姿勢がうかがえた。	・調理実習や衣服実習は家庭科室で行い、安全に気を付けて実習している。 ・2 学期はランチョンマット製作に取り組んでいる。